

午後の曳航 (1976)

THE SAILOR WHO FELL FROM GRACE WITH THE SEA

メディア 映画

ジャンル ドラマ エロティック

製作国 イギリス/日本

色彩 Color

時間 105分

初公開日 1976/08/28

公開情報 ヘラルド

【解説】

とある港町。海と船をこよなく愛する少年の前に現れたひとりの二等航海士。海の男を体現しているかのようなその人物に、少年は強い憧れを抱くが、未亡人である少年の母もまた彼に特別な感情を寄せていた。やがて、男と女の関係が出来上がり、二等航海士が陸に上がる決心をつけた時、少年の胸に奇妙な思いが湧き上がった……。三島由紀夫の原作をムード巧みに移植したのは、「セコンド/アーサー・ハミルトンからトニー・ウィルソンへの転進」(66)や「暗殺」(68)の脚本家L・J・カーリーノ。本作は初監督作品となるが、雰囲気と画造りを重視したその手腕はデビュー作とは思えない堅実さである。しつこいぐらいに描かれる、母の情事を覗き見する少年の姿は、海への憧れが、実は男に対してのものではなく母に対してのものである事を語っている。

【クレジット】

監督 ルイス・ジョン・カーリーノ Lewis John Carlino

原作 三島由紀夫

脚本 ルイス・ジョン・カーリーノ Lewis John Carlino

撮影 ダグラス・スローカム Douglas Slocombe

音楽 ジョニー・マンデル Johnny Mandel

出演 サラ・マイルズ Sarah Miles

クリス・クリストファーソン Kris Kristofferson

ジョナサン・カーン

マーゴ・カニンガム